

第 1 章

田辺市新水道ビジョン策定にあたって

- 1.1 計画の背景と目的
- 1.2 計画の位置づけと計画期間

1.1 計画の背景と目的

田辺市の水道事業は、昭和14年4月に旧田辺町において、計画給水人口25,580人として給水を開始しました。その後、およそ80年にわたり市町村合併、人口の増加、産業の振興に対応しながら、市民の皆様へ安全で安心な水道水を供給することで、市民生活を支え、地域の発展に貢献してまいりました。

現在、本市の水道普及率は94.9%(H29)に達しましたが、一方で、既存水道施設の老朽化、給水人口減少による水需要の減少、大規模震災などの災害対策、経験年数が少ない水道職員への技術継承など、様々な課題を抱えています。

近年、わが国における水道を取り巻く状況は大きな変化を見せています。これまでの水道事業は、拡張を前提とした様々な施策を講じてきましたが、日本の総人口の推移が平成22年頃より減少傾向に転じていることから、これからは、今後の給水人口や給水量の減少を前提に、老朽化施設の更新需要に対応するための施策に取り組んでいかなければなりません。また、東日本大震災では広範囲の地域に未曾有の被害を受けたことなどを教訓に、近い将来高い確率で発生すると予測されている南海トラフ巨大地震に備えた災害対策を講じることが喫緊に求められています。

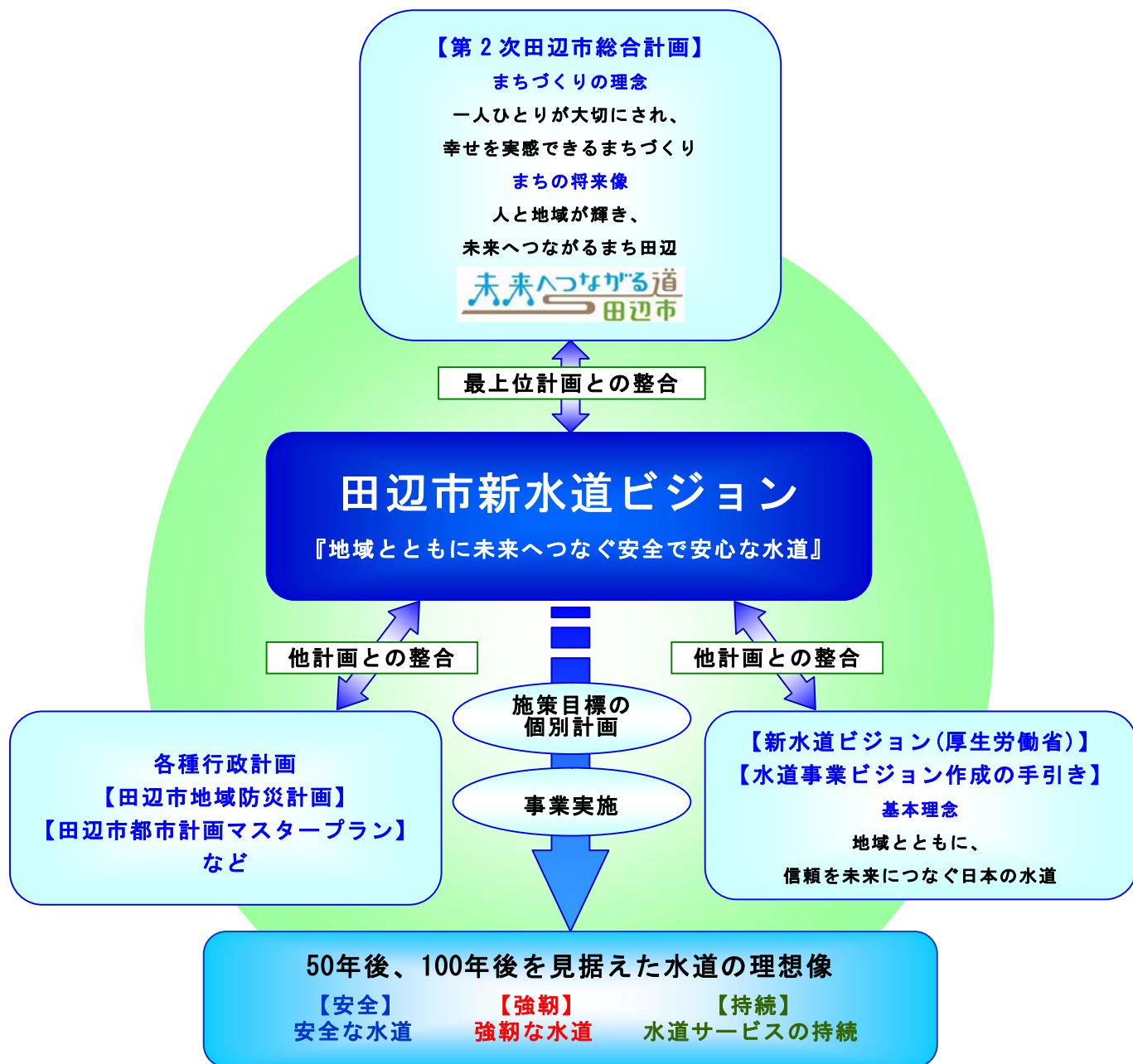
こうした状況を踏まえ、厚生労働省では平成16年6月公表の「水道ビジョン」を一新し、平成25年3月に「新水道ビジョン」を公表しました。

一方、本市では平成21年7月に「田辺市水道ビジョン」を策定しましたが、その後今日に至るまで、市内すべての簡易水道事業の上水道事業への統合(平成30年4月)など、田辺市水道事業の状況は大きく変化しました。そこで、水需要の減少を前提とした施策への転換や、あらゆる大規模災害対策などの有効的な計画を立案・達成させるため、現状の課題を明らかにし、今後の田辺市水道事業が目指すべき姿や具体的な施策を示す新地域水道ビジョンとして、「田辺市水道ビジョン」の見直しではなく、新たに、「田辺市新水道ビジョン」を策定することとしました。

1.2 計画の位置づけと計画期間

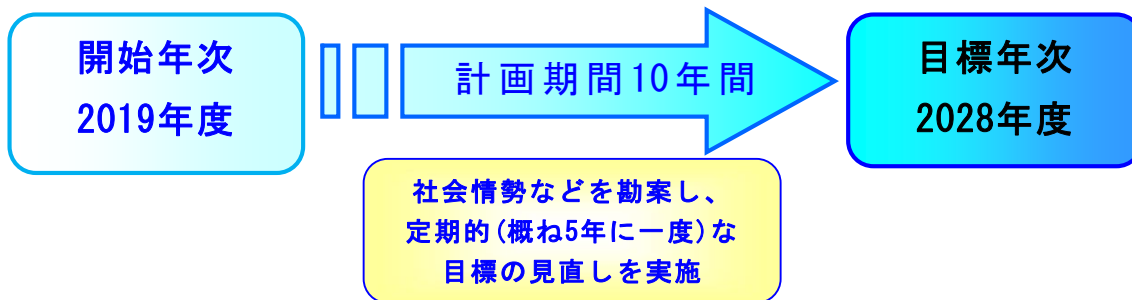
1) 計画の位置づけ

本ビジョンは、平成29年7月に策定された「第2次田辺市総合計画」や、厚生労働省より公表された「新水道ビジョン」及び各種行政計画との整合を図りながら、田辺市の水道が市民生活を支える最も重要なライフラインとして、地域特性を踏まえた信頼性の高い水道システムを構築していくことを目的に、長期的な将来像を見据えた上で、水道事業を取り巻く様々な課題を解決するための方向性を示す計画として位置づけます。



2) 計画期間

本ビジョンでは、計画期間を2019年度からの10年間とし、2028年度を計画目標年次と定めます。本ビジョンに示された目標は、今後、個別計画として具体化し、計画精度の向上を図っていくとともに、社会情勢などを踏まえて、概ね5年に一度の定期的な見直しを行います。



	2019～2023年度	2024～2028年度	2029年度～
短期目標	→		
中期目標	→		
長期目標	→		
継続目標	↔		

田辺市新水道ビジョン策定

計画目標年次

目標の見直し

目標の見直し